
平成30年度 北海道札幌丘珠高等学校 第2回評議員会 記録

1 期 日：平成31年3月15日（金）15:00～16:00

2 会 場：北海道札幌丘珠高等学校 校長室

3 出席者

【評議委員】 富樫善昭 委員、高橋綾子 委員、中村昌雪 委員、片倉利昭 委員
工藤奈穂子 委員

【学校担当者】 林 裕司 校長、米田憲哉 副校長、島瀬史子 教頭、兼田康吉 事務長

4 次 第

(1) 開会の言葉

(2) 校長挨拶

(3) 議題

- ① 平成30年度の取り組みについて
- ② 平成30年度の学校評価について
- ③ 卒業生及びその保護者に対する丘珠高校に関する意識アンケート結果について
- ④ その他

【委員からの御意見】

- ・ 学校内での携帯電話の使用については、ルールをしっかりと決めて、生徒がそれを守って使用することが必要なのではないかと。
- ・ 学校評価に授業中に寝ている生徒がいることが記載されていたが、公開授業を参観させてもらった際、授業中、あまりに生徒が静か過ぎて驚いた。教員の説明を一方的に聞くだけではなく、話し合いの時間をつなど生徒に動きのあるような授業の工夫が必要なのではないかと。
- ・ 先生たちの声を保護者に聞いてもらう機会を設けるために、PTA主催の「プレシャスタイム」を企画したが、現在、参加者の顔ぶれが変わらず、参加人数が確保できていない状況である。新たなPTAにも参加してもらったり、学校祭に地域の方にも来校してもらったりするなど地域に学校の取り組みを発信し、丘珠高校を知ってもらうことが重要である。
- ・ 丘珠高校の特色ある取り組みの1つとして、国際交流を全面に出してピーアールしてはどうか。また、ポートマコーリに外向くだけではなく、以前のようにポートマコーリからも来日してもらい、ホームステイを受け入れていくことはできないか。
- ・ 丘珠高校を受検する中学生が減少し、倍率が下がっていることは非常に残念である。私立高校のイメージが変化し、助成金が出るなど以前よりも入学しやすい状況であることはわかるが、交通の便が悪くても定員を割っていない学校はある。今後も丘珠高校の魅力を検討して行ってほしい。

(4) 校長挨拶

(5) 閉会の言葉